



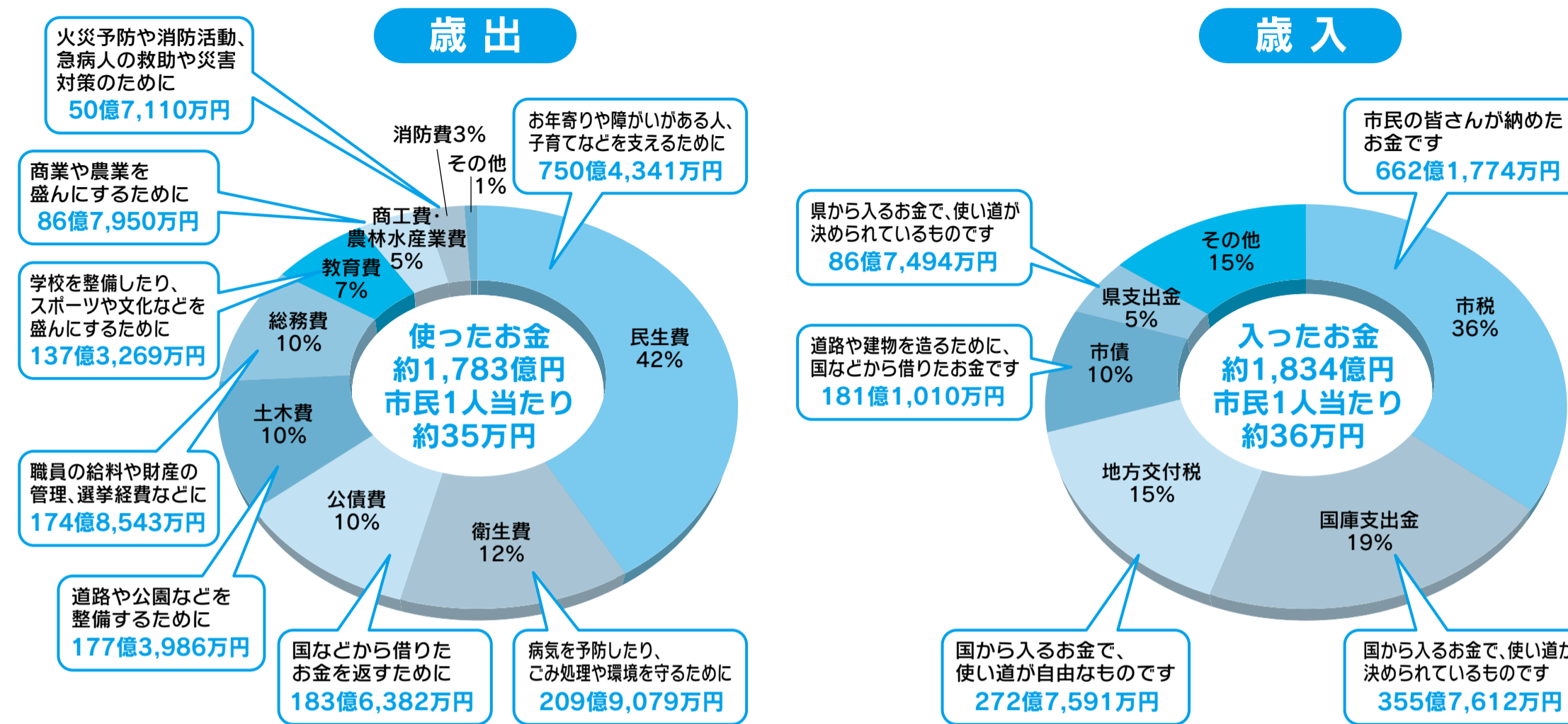
# 松山市の懐具合は？

## 平成24年度 財政事情の公表

### 実質収支 55年連続黒字

平成24年度の本市財政事情についてお知らせします。使ったお金は、一般会計1782億8616万円、特別会計1435億1934万円で、総額3218億550万円となりました。一般会計の実質単年度収支は、基金を活用してシステムの再構築や公共施設の耐震化など特殊事情による財源対策を講じたことなどにより、7億581万円の赤字となりましたが、実質収支は24億3782万円で、55年連続で黒字を確保しました。本市は健全な財政運営を維持していますが、今後も厳しい財政運営が予想されます。皆さんのご理解を得ながら、一人でも多くの人が「笑顔」になり、「幸せ」を実感できるまちづくりを目指します。

## 平成24年度 一般会計決算



### 水道事業

収入は長引く景気低迷や梅雨時期の減圧給水などの影響から水道料収入が前年度に比べ1億1109万円減の85億7865万円、支出は人件費の抑制に努めたことなどにより85億6984万円(資産維持費を含む)で、単年度実質収支は881万円の黒字となりました。また中須賀第二雨水排水ポンプ場の建設など、引き続き浸水対策に取り組みました。

### 簡易水道事業

地区簡易水道の施設整備やクリプトスボリジウムなどの病原微生物対策として北条地区に紫外線処理施設を整備するなど、より安全で安心できる水の供給体制を整えました。また将来の市之井手、竹原、垣生の3つの基幹浄水場の更新に備え、平成24年度から基金積み立てを開始しました。(初年度積立金7億682万円)

### 工業用水道事業

工場5社と契約しており、収入7億3240万円、支出5億530万円(資産維持費を含む)で、単年度実質収支は1億7310万円の黒字となり、健全経営を維持しました。

### 公共下水道事業

収入89億9804万円、支出98億9570万円、差し引く8億9766万円の赤字となり、赤字幅が前年度より9919万円拡大しましたが、平成20年度に約22億円であった赤字が半分に以下にまで減少しています。

### 市債残高

一般会計・特別会計・企業会計を合わせて3301億5817万円(同0.8%減)となり、前年度より26億7098万円減少しました。

### 特別会計

国民健康保険など13事業の歳入決算額は1466億7836万円(同8.0%増)、歳出決算額は1435億1934万円(同8.1%増)となりました。

### 家計に例えると...

| 使ったお金【歳出】               | 家計(1カ月)  | 本市(1年間)       |
|-------------------------|----------|---------------|
| 家族の医療費など【扶助費】           | 149,100円 | 517億490万円     |
| 食費【人件費】                 | 74,800円  | 259億4,143万円   |
| 自宅の修繕・改築【普通建設費・維持補修費など】 | 70,800円  | 245億4,452万円   |
| 光熱水費など【物件費】             | 58,800円  | 203億9,517万円   |
| 借金の返済【公債費】              | 52,900円  | 183億5,867万円   |
| 親戚への援助など【補助費・出資金・貸付金】   | 50,200円  | 174億1,329万円   |
| 別に住む家族への仕送り【繰出金】        | 46,000円  | 159億6,670万円   |
| 預金など【積立金】               | 11,400円  | 39億6,148万円    |
| 合計(②)                   | 514,000円 | 1,782億8,616万円 |

※数字は端数処理しています  
※歳出金額は、円グラフを性質別に分類しています。円グラフの公債費には、返済に伴う事務的経費などが含まれています

### ※年収300万円(月収25万円)の家計

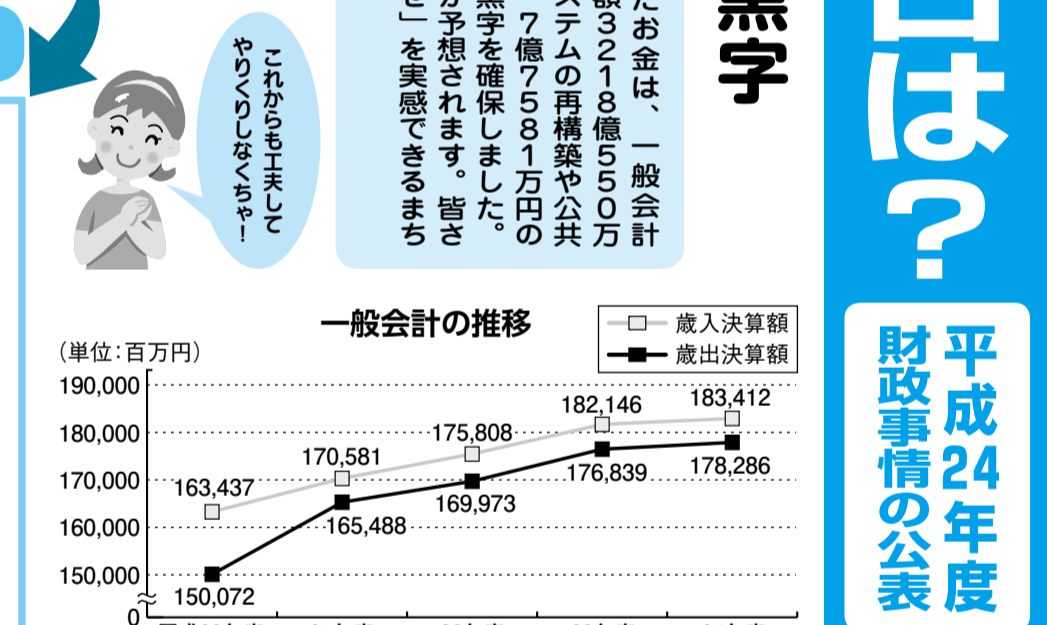
| 入ったお金【歳入】       | 家計(1カ月)  | 本市(1年間)       |
|-----------------|----------|---------------|
| 給料【市税などの自主財源】   | 250,000円 | 867億1,105万円   |
| 親から支援【国・県支出金など】 | 226,600円 | 785億9,060万円   |
| 借金【市債】          | 52,200円  | 181億1,010万円   |
| 合計(①)           | 528,800円 | 1,834億1,175万円 |

| まとめ                        | 家計(1カ月) | 本市(1年間)    |
|----------------------------|---------|------------|
| 収入から支出を引いた額【形式収支(①-②)】(③)  | 14,800円 | 51億2,559万円 |
| 次の年に使い道を決めている額【事業繰越当財源】(④) | 7,800円  | 26億8,777万円 |
| 実質的な黒字の額【実質収支(③-④)】        | 7,000円  | 24億3,782万円 |

| 貯金・借金の残高(平成24年度末現在) | 家計         | 本市            |
|---------------------|------------|---------------|
| 貯金【基金の現在高】          | 1,563,000円 | 451億7,901万円   |
| 借金【市債の残高】           | 6,026,000円 | 1,741億8,363万円 |



### 財政用語解説

**実質収支**  
形式収支(歳入総額から歳出総額を引いた額)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した、当該年度に使うべき収入と支出の実質的な差額。実質単年度収支

**一般会計**  
最終予算額は、1925億9223万円(対前年度比0.7%減)で、そのうち歳入決算額は1834億1175万円(同0.7%増)、歳出決算額は1782億8616万円(同0.8%増)となりました。

**歳入**  
個人市民税が年少扶養控除の廃止などにより対前年度比4.0%増となった一方、固定資産税が評価替えの影響から対前年度比4.3%減となり、税収確保に努めたものの、市税全体では3億3870万円、率にして0.5%の減収となりました。

**歳出**  
生活保護受給者の増加や法改正などによる障がい福祉サービス事業費の増加に伴い、民生費が対前年度比1.2%増の750億4341万円となり、全体の42.1%を占めています。

**市債(地方債)**  
地方自治体が資金調達のために借り入れるお金。基金

**地方交付税**  
地方自治体が特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て運用するもの。

**地方自治体の税収の地域的な不均衡を補うため、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)の一定割合の額を国が交付する地方自治体固有の財源で、使い道に制限はない。**

お問い合わせは、**財政課**  
94869999・934180

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9489846・9320454

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9486533・9345862

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9489846・9320454

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9486533・9345862

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9489846・9320454

お問い合わせは、**企経営管理課**  
9486533・9345862

